



2024年3月期 第2四半期 決算説明

証券コード：6908

2023年11月2日

IRISO 電子工業株式会社
IRISO ELECTRONICS CO.,LTD.

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.



-  **I. 2024年3月期第2四半期 連結決算概要**
- II. 2024年3月期 連結決算見通し**
- III. トピックス**

1. 2023年度2Q累計 業績のポイント



- 車載市場の伸長により、継続するコンシューマー・インダストリアル市場の調整局面をカバーし、売上高**281**億円、前年同期比**+10.2%**
1Q計画比+11億円、過去最高売上更新
※10月1日での新ERPシステムへの切り替え時における当社のシステム停止に向けた一部の顧客での安全在庫確保による売上増含む
- 売上増・原価低減により、営業利益**33**億円、前年同期比**+8.2%**、1Q計画比+3億円、営業利益率**11.8%**まで回復
- 10月1日に予定した新ERPシステム切り替えは、システムテスト等に万全を期すため、延期を決定

単位：百万円

	2022年度 2Q累計	2023年度 2Q累計	前年比	計画比
売上高	25,543	28,140	+2,596 +10.2%	+1,140 +4.2%
営業利益	3,063	3,315	+251 +8.2%	+315 +10.5%
営業利益率	12.0%	11.8%	△0.2pts	+0.7pts

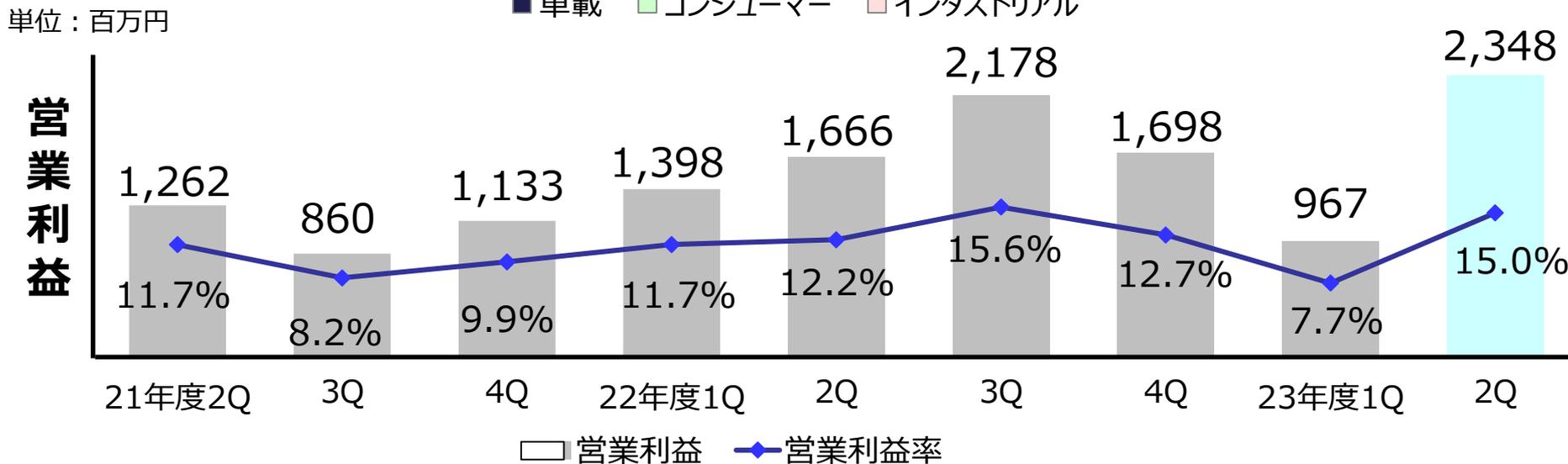
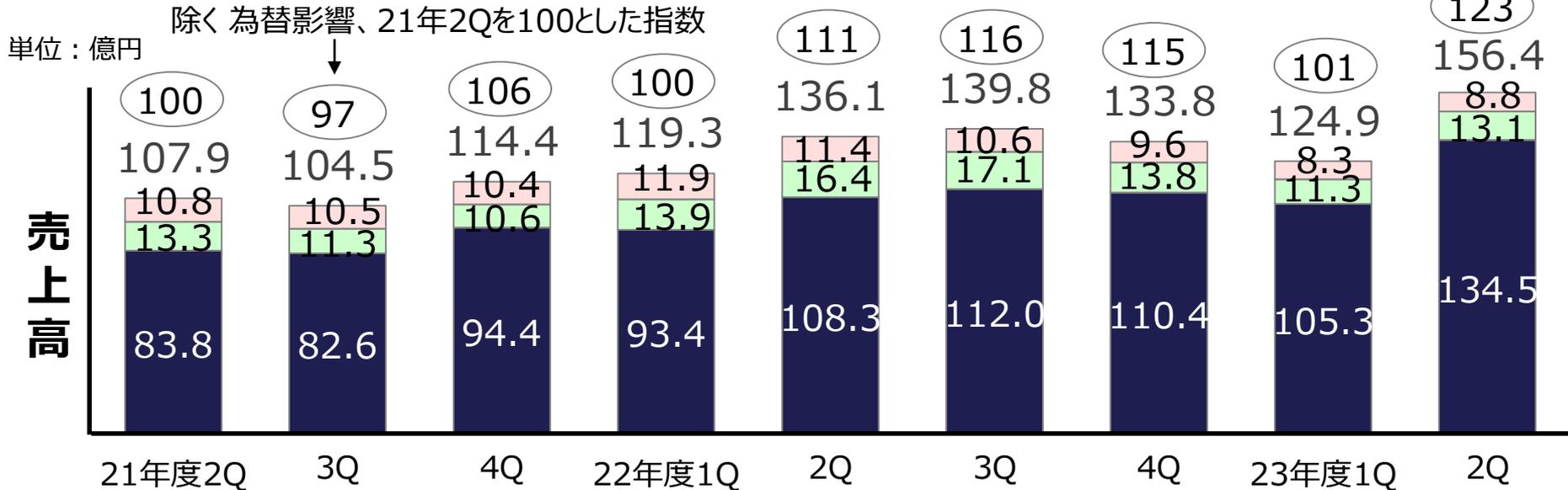
2. 2023年度2Q累計 連結決算の概要



単位：百万円

	22年度 2Q累計	23年度 2Q累計	増減額	増減率	計画比
売上高	25,543	28,140	+2,596	+10.2%	+1,140
車載	20,165	23,986	+3,821	+19.0%	
コンシューマー	3,046	2,437	△608	△20.0%	
インダストリアル	2,331	1,715	△615	△26.4%	
売上原価	17,172	19,251	+2,079	+12.1%	
売上原価率	67.2%	68.4%		+1.2pts	
販売管理費	5,307	5,572	+265	+5.0%	
販売管理費率	20.8%	19.8%		△1.0pts	
営業利益	3,063	3,315	+251	+8.2%	+315
営業利益率	12.0%	11.8%		△0.2pts	
税引前利益	3,639	4,101	+461	+12.7%	+601
四半期純利益	2,901	3,167	+266	+9.2%	+467
EPS	123.33円	134.66円			+19.89円
設備投資	3,747	5,263	+1,515	+40.4%	
減価償却	3,086	3,072	△13	△0.4%	
為替レート	ドル：133.46円	141.31円	+7.85円	+5.9%	+2.39円
	ユーロ：138.79円	153.51円	+14.72円	+10.6%	+1.17円
期中平均	元：19.82円	19.80円	△0.02円	△0.1%	+0.03円

3. 四半期別売上高・営業利益推移



4. 地域別・製品別売上高

■ 地域別

単位：百万円

	22年度 2Q累計		23年度 2Q累計		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
日本	5,063	19.8%	4,983	17.7%	△80
中華・韓国圏	10,123	39.6%	11,014	39.1%	+891
アメリカ	3,240	12.7%	3,451	12.3%	+210
欧州	4,033	15.8%	4,908	17.4%	+875
ASEAN	3,082	12.0%	3,782	13.4%	+699
合計	25,543	100.0%	28,140	100.0%	+2,596
海外比率		80.2%		82.3%	

■ 製品別

単位：百万円

	22年度 2Q累計		23年度 2Q累計		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
BtoB	10,532	41.2%	12,192	43.3%	+1,659
FPC	5,795	22.7%	5,856	20.8%	+61
車載IF	7,150	28.0%	8,101	28.8%	+950
ピンヘッダー	994	3.9%	1,330	4.7%	+336
その他	1,070	4.2%	659	2.4%	△411
合計	25,543	100.0%	28,140	100.0%	+2,596

日本

- ・車載市場が回復も、コンシューマー市場と産業機器需要減により減収

中華・韓国圏

- ・1Qの調整局面から回復

アメリカ、欧州

- ・車載市場回復により、成長に転ずる

BtoB

- ・車載市場の回復で増加
- ・“Z-Move[®]”、高速伝送対応新製品の貢献

車載IF

- ・パワートレイン分野向けで増加

5. 対前年同期比 売上・営業利益変動

単位：百万円

	売上高	営業利益	営業利益率	要因
22年度2Q累計 実績	25,543	3,063	12.0%	
22年4~5月上海 ロックダウン影響戻し	+540	+180		売上減並びにロックダウン対応追加経費減
		△365		ロックダウンによる固定費営業外処理の戻し
為替影響	+1,090	0		USD: 133.46円→141.31円、106% EUR: 138.79円→153.51円、111% CNY: 19.82円→19.80円、100% →営業利益率△0.5%押し下げ
物量増	+966	+485		
材料費増		△250		
固定費増		△490		人件費、経費増
一時費用		△430		・新ERP立上げによる経費増、資産減却、債券放棄他 →営業利益率△1.5%押し下げ
原価低減他		+1,121		収益構造改善による原価低減他
変動要因 計	+2,596	+251		
23年度2Q累計 実績	28,140	3,315	11.8%	

6. 連結貸借対照表の状況

単位：百万円

	22年度	23年度 2Q	前年末比
流動資産	46,194	51,957	+5,762
現金及び預金	18,640	21,639	+2,998
売掛債権	13,956	16,474	+2,517
棚卸資産	12,067	12,202	+134
固定資産	36,297	39,356	+3,059
資産合計	82,491	91,313	+8,822
負債合計	14,472	17,759	+3,287
買掛債務	4,364	4,688	+324
借入金	2,493	6,092	+3,599
純資産合計	68,019	73,554	+5,535
株主資本計	58,787	60,073	+1,285
自己資本比率	81.7%	79.8%	△1.9pts

7. 連結キャッシュフローの状況

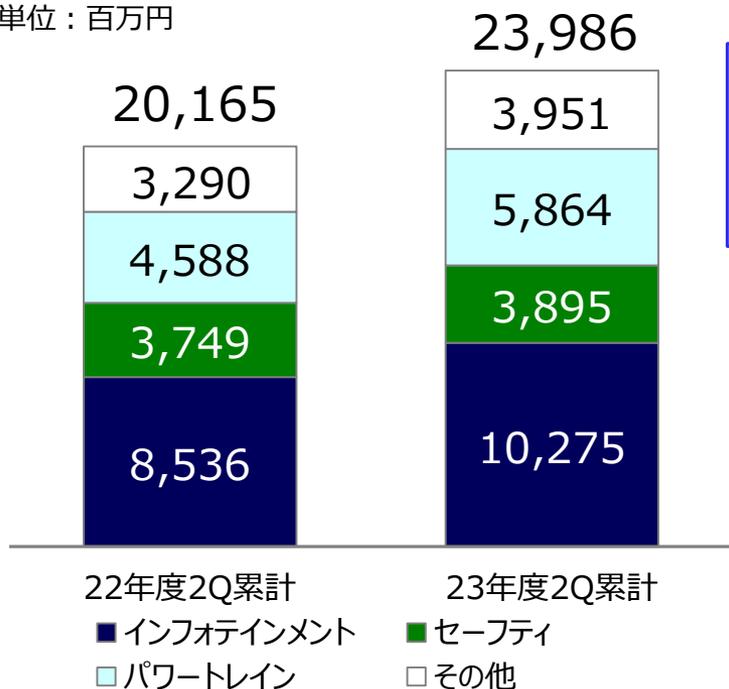
単位：百万円

	22年度 2Q累計	23年度 2Q累計	増減
営業キャッシュフローマージン率	21.3%	18.8%	△2.5pts
営業キャッシュフロー	5,444	5,287	△157
税引前利益	3,639	4,101	+461
減価償却費	3,086	3,072	△13
運転資金増減(△は増加)	△854	△928	△74
投資キャッシュフロー	△3,864	△5,449	△1,585
有形固定資産	△3,257	△4,475	△1,217
フリーキャッシュフロー	1,579	△162	△1,742
財務キャッシュフロー	361	1,617	+1,255
配当金	△1,420	△1,893	△472
現金及び現金同等物期末残	17,408	21,639	+4,231

8. 市場別売上 オートモーティブ(車載)

■ 前年比+3,821百万円 (+19.0%)

単位：百万円



- ・自動車生産の回復もあり、堅調に推移
- ・インフォテインメントの継続伸長、パワートレインの回復が牽引

インフォテインメント:前年同期比+23%

- ・海外顧客向け増加
- ・従来のナビ向けに加え、液晶パネルやIVI (In-vehicle Infotainment) 向けが貢献

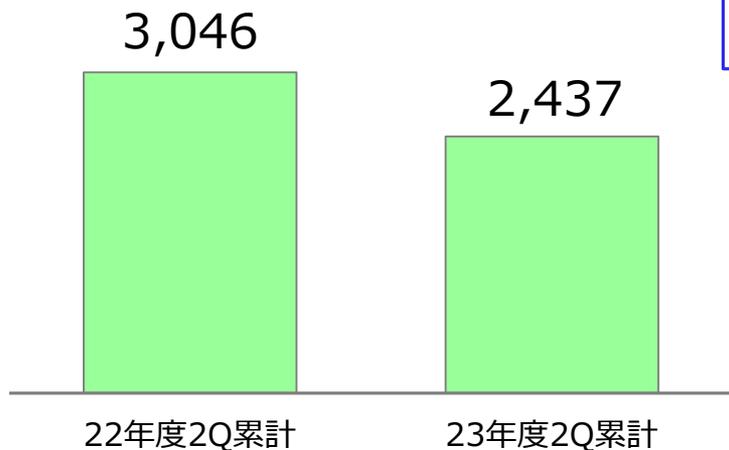
パワートレイン:前年同期比+47%

- ・中国の調整局面からの回復により、1Q比+68%、前年同期比+47%
- ・充電器向けなども堅調を維持

	22年度				23年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
インフォテインメント	3,971	4,565	4,401	4,392	4,668	5,606
セーフティ	1,803	1,946	1,843	1,852	1,825	2,069
パワートレイン	2,092	2,496	3,186	2,996	2,190	3,674
その他	1,470	1,820	1,773	1,799	1,849	2,101
合計	9,337	10,828	11,204	11,039	10,534	13,452

■ コンシューマー市場：前年比△608百万円 (△20.0%)

単位：百万円

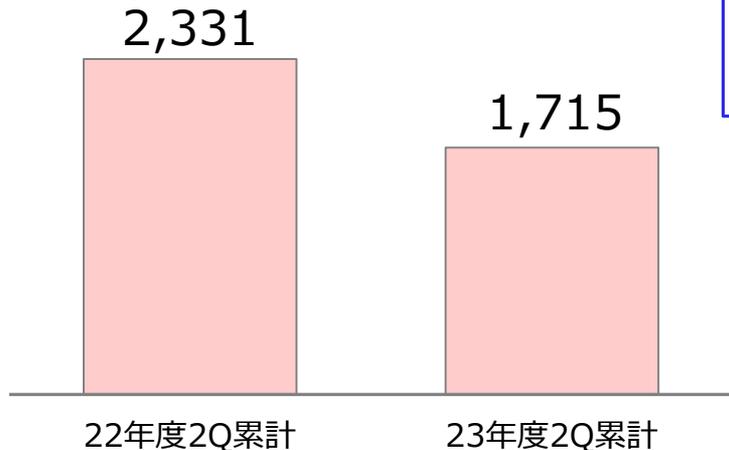


・テレビ、OA機器向け需要減継続により減収

22年度				23年度	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
1,398	1,647	1,710	1,385	1,130	1,307

■ インダストリアル市場：前年比△615百万円 (△26.4%)

単位：百万円

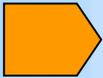


・中国の設備投資調整、5G基地局向けの在庫調整影響継続により減少

22年度				23年度	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
1,193	1,138	1,060	960	831	884



I. 2024年3月期第2四半期 連結決算概要

 **II. 2024年3月期 連結決算見通し**

III. トピックス

1. 2023年度 業績予想

■ 8月2日修正計画の変更なし。但しセグメント別売上高は市況影響等を織込み変更

下期為替レート：ドル:140円、ユーロ:155円、中国元:20円

単位：百万円

	22年度		23年度		前年比	
	上期	通期	上期実績	通期計画	対上期	対通期
売上高	25,543	52,903	28,140	57,000	+2,596 +10.2%	+4,096 +7.7%
売上原価率	67.2%	67.3%	68.4%	67.5%	+1.2pts	+0.2pts
営業利益	3,063	6,940	3,315	7,700	+251 +8.2%	+759 +10.9%
営業利率	12.0%	13.1%	11.8%	13.5%	△0.2pts	+0.4pts
税引前利益	3,639	7,034	4,101	8,000	+461	+965
当期純利益	2,901	5,541	3,167	6,200	+266	+658
EPS	123.33円	235.58円	134.66円	263.56円		
為替レート 期中平均	ドル：133.46円 ユーロ：138.79円 元：19.82円	134.95円 141.24円 19.68円	141.31円 153.51円 19.80円	140.71円 154.20円 19.89円	+7.85円 +14.72円 △0.02円	+5.76円 +12.96円 +0.22円
設備投資	3,747	8,427	5,263	10,200	+1,515	+1,772
減価償却	3,086	6,168	3,072	6,700	△13	+532

2. 2023年度 市場別売上高計画

単位：百万円

	22年度		23年度				2Q累計 進捗率
	売上高	構成比	期初計画	修正計画	構成比	前年比	
車載計	42,409	80.2%	45,700	48,600	85.3%	+14.6%	49.4%
インフォテインメント	17,330	32.8%	18,000	20,200	35.4%	+16.6%	50.9%
セーフティ	7,445	14.1%	7,500	7,600	13.3%	+2.1%	51.3%
パワートレイン	10,771	20.4%	13,200	12,800	22.5%	+18.8%	45.8%
その他	6,862	13.0%	7,000	8,000	14.0%	+16.6%	49.4%
コンシューマー	6,141	11.6%	5,300	4,900	8.6%	△20.2%	49.7%
インダストリアル	4,352	8.2%	4,000	3,500	6.1%	△19.6%	49.0%
合計	52,903	100.0%	55,000	57,000	100.0%	+7.7%	49.4%

項目	内容
① 収益構造改善プロジェクトの刈り取り	<ul style="list-style-type: none">・価格政策の見直し、ロングテール対策・主力製品の原価低減・生産性向上、物流費改革他・調達戦略策定、経費削減(23年4月より追加)
② 戦略製品ラインナップ強化	<ul style="list-style-type: none">・車載xEV向け新製品投入による更なる深耕・次世代高速伝送対応コネクタの開発・車載カメラ向け製品ラインナップの強化・統合ECU向けコネクタの開発
③ 営業力強化	<ul style="list-style-type: none">・高速伝送対応コネクタの全市場への展開・インダストリアル市場拡販のためのリソース強化・インド・東南アジア地域における営業体制強化 →インドに販売会社設立、営業開始
④ 生産能力拡大、BCPの強化	<ul style="list-style-type: none">・花巻工場：2023年11月稼働の実現 →10月6日稼働開始・秋田工場：2025年稼働に向けPJ実行
⑤ 新ERPシステムの円滑な立ち上げ	<ul style="list-style-type: none">・10月1日より新ERPシステム切り替え推進 →延期、24年1Q切替予定

■ 新ERPシステム切り替え開始時期の延期

- ・10月1日に予定した新ERPシステムへの切り替えについて、お取引先様とのシステムテスト等に万全を期すための期間を設けること、決算並びにマスタ類の更新手続きの作業性向上、により延期を決定
- ・新たな切り替え時期は、2024年1Qを予定
- ・延期により発生する費用は、業績計画に織り込み済

[新ERPシステムへの切り替え経緯、目的]

- ・長期ビジョンで掲げる売上1,000億円のオペレーションを円滑に事業運営できるシステムの構築
- ・販売、製造、出荷までグループ全体での業務最適化、経営情報の可視化、MESとの連携による生産活動の可視化、生産性の向上

[新ERPシステム導入効果]

- ・グローバル標準化により、生産効率改善、不良資産減却等ロスコスト圧縮、金型・設備効率運用による投資圧縮、運転資金改善、間接人員効率改善による人員抑制等により、年間4億円強の導入効果を見込む



I. 2024年3月期第2四半期 連結決算概要

II. 2024年3月期 連結決算見通し

 **III. トピックス**

■ インドに現地販売会社設立

- ・今期の重点施策「営業力強化」の中で掲げる、「インド・東南アジア地域における営業体制強化」の一環としてインドに販売会社を設立
- ・二輪車を含む車載市場を中心とした売上拡大を目指し、9月より営業開始。「electronica India 2023」にも出展



【インド車載市場】

- ・自動車販売台数：2022年5.2百万台 日本、ドイツを抜き、世界第**3**位
今後も年率**10**%以上の成長を見込む
- ・二輪車販売台数：2022年17.7百万台 世界第**1**位、シェア**33**%
今後は電動化が進展する見込み

(MARKLINES、矢野経済研究所のレポートを参考に当社予想)

■ 花巻工場 稼働開始

- ・今期の重点施策「生産能力拡大、BCPの強化」の取り組みとして、岩手県花巻市に金型製作を担う花巻工場の建設が完了し、10月から稼働開始



■ ESGへの対応に優れた株式銘柄を示す「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に初選定

- ・ GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が国内株式を対象に採用する6つの指数のうち「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」、「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数」に続き、3つ目の選定
- ・ 今後も事業活動を通じ、社会貢献や環境・社会課題に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献を目指す



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにイリソ電子工業株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

IFコネクタ

IFとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット/アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.